

第42回

神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「詰」以外の目的を達成する作品」です。普通の詰将棋は「詰」という目的の達成や妨害を主題に手順を構成しますが、フェアリーでは別の目的を設定したルールも少なくありません。今回は「詰」と似て非なる「スタイルメイト」の作品が多く集まりました。

まずは各題のルール説明から。
〔ルール説明〕

〔打歩〕打歩詰以外の詰みを禁じる。

〔スタイルメイト〕王手は掛かっているが合法手のない状態（単玉の場合）は単に合法手のない状態。

〔最善詰〕攻方は受方玉がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。

〔補足〕「最善詰」は普通の詰将棋から細則を省き、攻方最短を強制するルール。無駄合概念はなく、駒が余るかどうかで変化手順に優劣を付けない。長手数之余詰は無視する。

〔背面〕敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

〔安南〕味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

〔補足〕背面や安南には「行き所ない駒」の概念はありません。

〔各出題作についての補足〕

①は「打歩」で詰めるばかり詰です。「打歩詰」は通常の「詰」ではないという解釈で登場しています。命名からも分かる通り、パラ5月号の「雪姫」と密接な関係にある作品です。

②は受方が攻方に協力しない「自殺スタイルメイト」です。単玉なので、攻方は自分の駒を全部捨てようとするのですが、受方はそれに抵抗します。例えば初手から12龍、同玉、22角成、

同玉、34桂と進めるのは、33玉とされて、王手が掛からず、スタイルメイトにもならず失敗です。また、「最善」を指定しているので「攻方最短」の手順を求めてください。

後半は性能変化ルールの協力自殺スタイルメイト3題です。どれも「駒を全部捨てる」方針では解けません。

③は自玉が二段目におり、「玉の包囲」と「合法手の枯渴」の両方を実現せねばなりません。背面の手筋がふんだんに登場するので、既発表作や資料(<http://k7ro.abz.jp/report/h2nlist.html>)等で、感覚を慣らしてから解図することをお勧めします。

④は⑤に向けての準備運動。安南の特性を上手に使って、手数不足にならないようにしてください。

⑤は④で使われている手筋を最大限に活用したものです。方針は分かり易いと思うので、盤面を大きく使った手順をお楽しみください。

懸賞問題

▼締切6月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記のアドレスへ

E-mail: janacek789@ybb.ne.jp

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

③ 上谷直希

背面ばか自殺スタイルメイト 12手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

④ 神無太郎

安南ばか自殺スタイルメイト 16手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
	と		と						二
歩		歩		歩				王	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛歩

① 神無三郎『白雪姫II』

打歩ばか詰 29手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					金				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

⑤ 神無太郎『白虹』

安南ばか自殺スタイルメイト 32手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香4歩3

② 神無七郎

最善自殺スタイルメイト 28手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂香